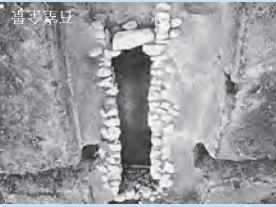




工具などが出土しました。

金銅鏡金具、鞍金具、六葉形金具、鉄斧といった武器、武器、馬具、金銅張掛甲小札、三環鎧、鉄地金銅張香葉、木心鉄板張香葉、轡、出土遺物が豊富で、石室内から鉄矛、石突、鉄鏃、短甲、鉄地



持つ特色ある石室です。朝鮮半島加耶地域に起源を部前面に赤い顔料が塗られていま

5世紀中頃に造られた全長 70m の前方後円墳です。前方部に初期

の前方後円墳で、5世紀前半

全長 80m の前方後円墳で見えますが、

22号墳は現状では円墳に見えますが、

41基が現存します。

後円墳5基、方墳1基、円墳35基の計

古墳群です。東西800mの台地上に前方

られ、津屋崎古墳群の中で最も密集する

5世紀前半から6世紀後半にかけて造

るもので、墳丘上から鉄矛や琥珀原石な

どが出土したことから、祭壇として使わ

れたとの説もあります。

発掘調査が行われた古墳は1～6号

墳などがあり、1号墳は全長50mの前

方後円墳で、鉄刀や鉄の矢じり、鍛冶工

具などが出土しました。5号墳は直径

13mの円墳で、革袋形の須恵器など多

くの土器が出土しました。また、柱

状の玄武岩を立て、仏像や梵字を彫刻し

ています(福岡県指定有形文化財)。

5世紀中頃に造られた全長 100m の前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

石室内からは画文帯神兽

鏡、内行花文鏡など8面の

鏡、金銅製冠帽、鹿角装大

刀40振以上、短甲、15,000

点以上のガラス玉など多量の

遺物が出土しています。これら

の副葬品は沖ノ島7、8号遺

跡にも対比できる内容であり、

沖ノ島祭祀とのかかわりをうか

かわせます。

5世紀中頃に造られた全長

100mの前方後円墳です。後

円部に古式の横穴式石室があ

り、石室内は壁面から天井まで

赤い顔料が塗られていました。

中軸線上に2本の石柱が立て

られる石室は国内には例が無

い構造で、朝鮮半島に類例が

あります。

1 かつうらたかはらこふんぐん 勝浦高原古墳群

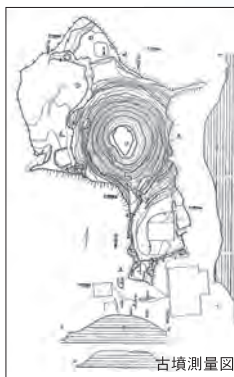
前方後円墳1基と円墳12基からなり、11基が現存しています。11号墳は全長49mの前方後円墳です。(6世紀後半)



11号墳全景

5 ゆくえおつかこふん 生家大塚古墳

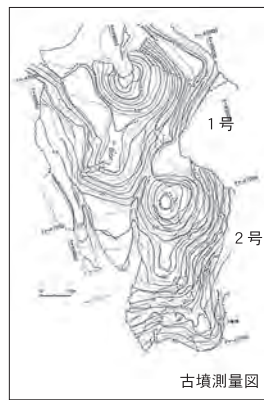
前方部の大半を失っていますが全長73mの前方後円墳で、周りに溝と堤がめぐらされています。埴輪や須恵器が出土しています。(5世紀後半)



古墳測量図

6 おおいしおかのたにこふんぐん 大石岡ノ谷古墳群

1、2号墳はそれぞれ全長55m、全長43mの前方後円墳です。(6世紀後半)



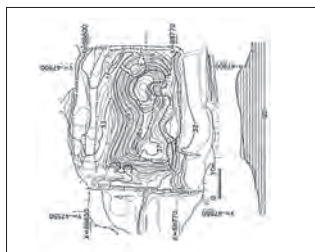
古墳測量図



1号墳石室内部

7 すだたかみのくちこふん 須多田上ノ口古墳

周りに溝と堤がめぐる全長43mの前方後円墳です。(5世紀後半)



古墳測量図

8 すだたあまふりじんじゃこふん 須多田天降天神社古墳

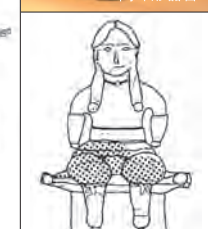
全長80mの前方後円墳で、周りに溝と堤がめぐらされています。高环形器台、円筒埴輪、人物埴輪などが出土しています。(6世紀前半)



古墳測量図



高环形器台



人物埴輪想像復元図

9 すだたしものくちこふん 須多田下ノ口古墳

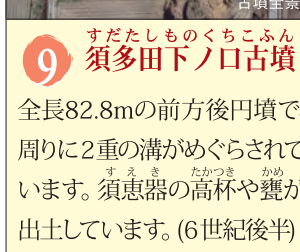
全長82.8mの前方後円墳で、周りに2重の溝がめぐらされています。須恵器の高杯や甕が出土しています。(6世紀後半)



古墳全景



溝(遺物出土状況)



高杯



甕

10 すだたみそづかこふん 須多田ミソ塚古墳

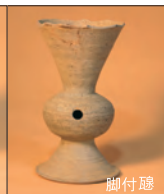
全長67mの前方後円墳です。須恵器の脚付壺や脚付甕などが出土しています。(6世紀中頃～後半)



古墳測量図



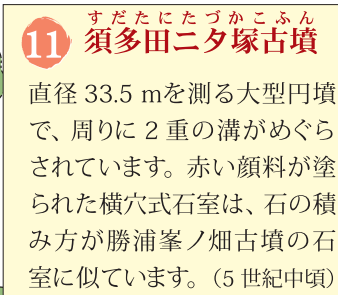
脚付壺



脚付甕

11 すだたにたづかこふん 須多田ニタ塚古墳

直径33.5mを測る大型円墳で、周りに2重の溝がめぐらされています。赤い顔料が塗られた横穴式石室は、石の積み方が勝浦峯ノ畑古墳の石室に似ています。(5世紀中頃)



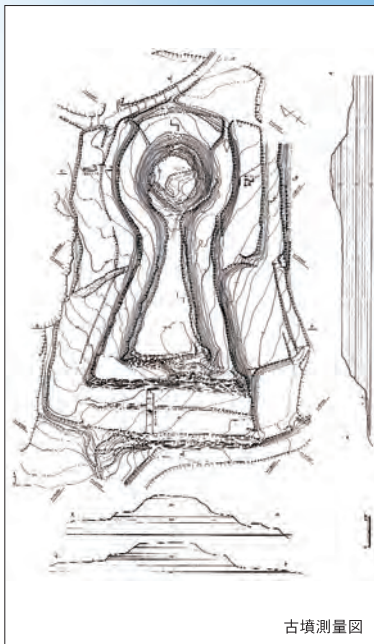
古墳全景



石室内部

12 あらじつるぎづかこふん 在自剣塚古墳

津屋崎古墳群最大の規模を誇る前方後円墳で全長は101.7mを測ります。須恵器の大甕や高环形器台が出土しています。(6世紀後半)



古墳測量図



前方部の調査

14 みやじいでのかみこふん 宮司井手ノ上古墳(未指定)

直径26mの円墳です。墳頂部から竪穴式石室、箱式石棺、石蓋土壙墓の3つの埋葬施設が見つっています。箱式石棺からは人骨とともに短甲、刀剣類、鉄鉋、鉄製農具類などの豊富な副葬品が出土しています。(5世紀前半)なお、200m東にある手光湯ノ浦古墳群(地図中15)でも類似の埋葬施設が見つっています。(5世紀前半～6世紀前半)



古墳全景



箱式石棺



短甲

凡 例	
	前方後円墳
	円墳
	方墳
	標高50m未満
	標高50m以上
	旧入り海(縄文時代の推定海岸線より)
	海、河川、池